

どこかで耳にした、あのメロディ
テレビや映画で聴いたあの名曲・・・
さあ、オーケストラを聴きに出かけてみませんか？

はじめてのオーケストラ

大阪シンフォニカー交響楽団 名曲コンサート



指揮：寺岡 清高



ピアノ：大道 真理



ナビゲーター：今城 和久

指揮：寺岡 清高
管弦楽：大阪シンフォニカー交響楽団
ピアノ：大道 真理
ナビゲーター：今城 和久 (NHKアナウンサー)



プログラム

- R.シュトラウス：ツァラトゥストラはかく語りき 序奏
- ワーグナー：歌劇「ローエングリン」第3幕への前奏曲
- J.S.バッハ：主よ人の望みよ喜びよ
- ブラームス：ハンガリー舞曲 第1番
- モーツァルト：ピアノ協奏曲 第23番 第2楽章
- ベートーヴェン：交響曲 第7番 第1楽章
- ヴェルディ：歌劇「アイータ」より「凱進行曲」
- エルガー：愛のあいさつ
- アンダーソン：プリंक・プレंक・プランク
- ホルスト：組曲「惑星」より「ジュピター」
- フェラーリ：歌劇「マドンナの宝石」より第2幕への間奏曲
- エルガー：行進曲「威風堂々」

平成20年度 田辺市文化事業 平成20年度きのくに舞台芸術祭支援事業

11/9(日) 開演：午後3時30分(開場：午後3時)

入場料1500円 全席指定

紀南文化会館大ホール

●チケット発売所

紀南文化会館、田辺市教育委員会 文化振興課(市民総合センター3F)、御坊市民文化会館、上富田文化会館、龍神市民センター
中辺路コミュニティセンター、大塔総合文化会館、本宮教育事務所、みなべ町中央公民館、白浜町役場、日置川拠点公民館、すさみ町役場

主催：田辺市教育委員会 助成：和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団 協賛：(財)和歌山県市町村振興協会

●お問い合わせ：田辺市教育委員会 文化振興課 TEL0739-26-9943 和歌山県田辺市湊1619-8

はじめてのオーケストラ ～大阪シンフォニカー交響楽団名曲コンサート～



寺岡清高（指揮）

早稲田大学第一文学部を卒業。桐朋学園大学を経て1992年よりウィーン国立音楽大学指揮科に入学、指揮を高階正光、カール・エステルライヒャ、ウロシュ・ラーヨヴィッチ、湯浅勇治の両氏に師事。1997年イタリア・シエナのギジアーナ音楽院より指揮科最優秀受講生に贈られる「フランコ・フェラーラ大賞」を授与され、1年間ジャンルイジ・ジェルメッティのアシスタントとして、ロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル、ローマ・サンタチェチーリア管等に同行し研鑽を重ねる。また、2001年より1年半にわたりイタリア・フィエーゾレ音楽院においてカルロ・マリア・ジュリーニより定期的に指導を受けた他、2000年以降ヨルマ・パヌラ、ネーメ・ヤルヴィ両氏の下で研鑽を積む。

1996年プロコフィエフ国際指揮者コンクール第3位。2000年ミトロプーロス国際指揮者コンクール優勝。これまでにヴェニス・フェニーチェ歌劇場管弦楽団、サンクト・ペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、オランダ放送管弦楽団、モスクワ室内管弦

楽団、ウィーン室内管弦楽団を始め、イタリアを中心にヨーロッパ各国のオーケストラへ客演。

日本に於いては2001年に大阪シンフォニカー交響楽団を指揮してデビュー。これまでに新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シテイ・フィルハーモニック管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団を指揮している。近年はイタリア・パドヴァ管弦楽団、フランス国立ロワール交響楽団、ブラジル・ポルトアレグレ交響楽団等に客演。2007年4月にはイギリス室内管弦楽団を指揮してロンドンデビューを飾った他、同7月には急病のネーメ・ヤルヴィ氏に代わりラトヴィア国立交響楽団を指揮して、エストニアのオイストラフ音楽祭閉幕演奏会を成功に導いた。

大阪シンフォニカー交響楽団正とは、2004年1月の正指揮者就任以来緊密な関係を続けている。ウィーン在住。



大道真理（ピアノ）

桐朋学園女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽部演奏学科を経て、桐朋学園大学院大学を卒業。

2001年よりチェコ・ヤナーチェク音楽院へ留学し、2002年よりチェコ政府による奨学金制度に合格、奨学金を得て研鑽を積む。

第18回PTNAピアノコンペティションシニア級優秀賞受賞。

第2回KOBE国際学生音楽コンクール奨励賞受賞。

第12回吹田音楽コンクールピアノソロ部門第2位（1位なし。）

1997年、桐朋学園大学ピアノ科校外演奏会に推薦され出演。1999年、第26回兵庫県大学新人演奏会に出演。2000年、フランス・クルシュヴェール国際アカデミーにてジェラルド・フレ

ミー氏に師事、教授の推薦を受け選抜演奏会に出演。

現在、神戸、西宮を中心に後進の指導や音楽活動を広げ、毎年チェコにてソロリサイタル、室内楽リサイタルを開催している。

これまでにピアノをヴァレール・優美子、松島恵子、岡本美智子、前島園子、岩崎淑、フリードリヒ・ヴィルヘルム・シュヌアー、レモ・レモーリ、カールマン・ドラフィ、イルジー・スコバイサの各氏に、室内楽を岩崎淑、江藤俊哉、江藤アンジェラ、松波恵子、倉田澄子、ラディスラフ・キセラークの各氏に師事。



今城和久（ナビゲーター）

平成11年にNHKへ入局し、京都・大阪の両局を経て神戸放送局勤務。総合テレビ「ニュースKOBE発」（兵庫県・月～金曜18:10～19:00）のキャスターを務める傍ら、FM「オーケストラの夕べ」（全国放送・毎月第3日曜19:20～21:00）の司会や、クラシック音楽に関する取材や番組制作にも数多く携わっている。趣味は音楽鑑賞、およびピアノ・トランペット・コントラバスなど楽器の演奏（ただしいずれも中途半端）。学生時代は早稲田大学交響楽団の演奏旅行でコントラバス奏者としてウィーン楽友協会（オーストリア）やカーネギーホール（米国）など世界4カ国13都市のホールを巡り、現在も休日はアマチュアオーケストラの合奏に参加している。



大阪シンフォニカー交響楽団

1980年創立。楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！』をモットーに提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。2008年4月より児玉 宏氏が音楽監督・首席指揮者に就任。

同氏は26年以上に及ぶドイツ歌劇場での豊富な経験を持ち、近年、新国立歌劇場など日本での活躍もめざましく、今もっとも注目をあびる指揮者のひとりである。2007年9月の当楽団「第120回定期演奏会」でのブルックナー「交響曲 第5番」の演奏などが高く評価され、「2007年音楽クリティック・クラブ賞」を受賞した。2004年1月から正指揮者として

就任している寺岡清高氏（2000年ミトロプーロス国際指揮者コンクール優勝）とともに、両指揮者陣のもと、楽団のさらなる飛躍が期待されている。定期演奏会年10回、名曲コンサート年5回（10公演）、特別演奏会、東京公演と主催公演も充実している。2007年度の公演回数は106回を達成。1990年大阪府知事表彰、91年、93年、99年、2000年と4回の大阪

文化祭賞を受賞した。1997年には社団法人日本オーケストラ連盟に加盟。2006年芸術家会議に入会。2002年、平成14年度文化庁“本物の舞台芸術体験事業”の指定を受け、以後7年連続で採択される。2002年12月には、日本・ルーマニア交流100周年を期して、初のヨーロッパ公演を行い、成功を取めた。2003年3月ベトナム・ハノイ市にて日越外交樹立30周年記念の公演を行った。

2003年度より文化庁芸術創造活動重点支援事業の助成を受ける。支援組織としては、1988年大阪シンフォニカー協会が設立され、91年理事長に三洋電機株式会社 井植敏氏が就任。併せて数社の理事会社と顧問・相談役の就任により、より一層の発展を期して組織の充実が図られた。2000年本拠地を大阪府堺市へ移転。堺市長を特別顧問に迎え、政令指定都市・堺の新たな文化の顔としての活躍が期待されている。

2006年4月、大阪シンフォニカー協会理事長に大和ハウス工業株式会社取締役会長 樋口武男氏が就任。同社の全面的な支援により、さらなる発展が期待されている。同年10月、新たに理事会社5社が加わり、より一層の体制強化が図られた。2008年1月、平成19年度（第62回）文化庁芸術祭「芸術祭優秀賞」を受賞。初の全国的な賞を受賞する。他団体に先駆けて1999年開設の楽団ホームページ（<http://www.sym.jp>）は、すでに95万件的アクセスと充実した内容を誇っている。